

## 会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号) 1 - 4 4	第 4 回墨田区都市計画マスタープラン改定検討委員会		
開催日時	平成30年2月27日(火) 14時00分から15時30分まで			
開催場所	墨田区役所12階 121会議室			
出席者数	13人【委員】小出治 篠崎道彦 笠井孝 阿部貴明 岸成行 高野祐次 渡辺茂男 田中正明 【事務局】都市計画課長 都市計画・開発調整担当主査(2名)、 都市計画開発調整担当主任、主事			
会議の公開 (傍聴)	公開(傍聴できる)	部分公開(部分傍聴できる)	傍聴者数	5人
	非公開(傍聴できない)			
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 第3回改定検討委員会における意見と対応について</li> <li>2 骨子案(都市像、全体構想、分野別構想)について</li> <li>3 地域別構想検討の進め方について</li> <li>4 平成30年度のスケジュールについて</li> </ol>			
配 付 資 料	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 墨田区都市計画マスタープラン改定骨子案</li> <li>2 第3回改定検討委員会 主なご意見</li> <li>3 地域別構想検討の進め方について</li> <li>4 区民ワークショップの進め方(案)</li> <li>5 改定検討委員会スケジュール(案)</li> </ol>			
会 議 概 要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会 委員の出席状況の報告と配布資料の確認を行った。</li> <li>2 第2回改定検討委員会における意見と対応について 「すみだらしさ」、「下町らしさ」、「ものづくり」、「住工共存」などの表現を追記することや面的なまちづくりについて将来都市構造図の補完図を作成し表現していくことを説明した。 【主な意見等】 補完図で良いのか。住工商などいろいろなものが混在しているのが、墨田区の特徴ではないのか。 回答：これまで拠点という考え方でまちづくりを進めてきた経緯もあり、削除するのは難しく、ご意見の内容を補完図として表現する。 文花地区だけ学術文化拠点とあるが、両国にも博物館などが集積している。 回答：墨田区唯一の大学の整備とそれに伴う周辺のまちづくりということで、区としては力を入れていくため、このような拠点名とした。</li> </ol>			

3 骨子案（都市像、全体構想、分野別構想）について

今までのご意見を踏まえた修正等を加え、骨子案（都市像、全体構想、分野別構想）について提案した。

【主な意見等】

「昭和レトロ」より、「江戸文化」という表現の方が良い。

4つの都市像それぞれを図面で表現し、重ね合わせると混在になり、「すみだらしさ」になるのではないか。

ものづくりについては「ものづくり文化」とした方が内容を充実できる。

北部南部の違いを認識し、全区平均的に記述・表現する項目と北部南部に分けて記述・表現する項目と使い分ける方法もあるのではないか。

4 地域別構想検討の進め方について

地域の分け方について、他の行政計画や学校区、町会など様々な考え方を説明した。うまく重ね合わせることが難しいため、現行の6地域で検討することを説明した。

また、ワークショップについては4月より参加者を募集し、5月から8月にかけて開催することを説明した。

【主な意見等】

類似性や特徴、コミュニティの単位があるとよいが、6つから5つにするのは問題があるのではないか

東墨田と立花・文花では特色が違う。東墨田と八広と一緒にの方が、実態に合っている気がする。

5 平成30年度のスケジュールについて

次年度の改定検討委員会について、予定の日程及び議題について説明した。

6 今後のスケジュールについて

今回は平成30年5月31日14時より開催する旨を連絡した。

---

会議の概要は以上である。

所 管 課

都市計画部 都市計画課 都市計画・開発調整担当 （内線 3907）